

CASBEE 広島 2016年版

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

欄に数値またはコメントを記入

(仮称)広島市中区富士見町新築工事

配 慮 項 目			評価点		重み係数		内 訳					
■ 1. 「地球温暖化対策」の推進												
1.1 建物の熱負荷抑制												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.44	Q1	室内環境	2	温熱環境	2.1	室温制御	2	外皮性能		
断熱性能及び省エネエネルギー性の高い複層ガラスを設置	4.0	0.56	LRI	エネルギー	1	建物外皮の熱負荷抑制						
小計	3.6	0.20										
1.2 自然エネルギーの利用												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	0.0	0.00	LRI	エネルギー	2	自然エネルギー利用						
小計	0.0	0.00										
1.3 設備システムの高効率化												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	5.0	1.00	LRI	エネルギー	3	設備システムの高効率化						
LED照明の採用												
小計	5.0	0.27										
1.4 設備システムの効率的運用												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.00	LRI	エネルギー	4	効率的運用		集合住宅以外の評価	4.1	モニタリング		
	0.0	0.00	LRI	エネルギー	4	効率的運用		集合住宅以外の評価	4.2	運用管理体制		
	3.0	0.50	LRI	エネルギー	4	効率的運用		集合住宅の評価	4.1	モニタリング		
	3.0	0.50	LRI	エネルギー	4	効率的運用		集合住宅の評価	4.2	運用管理体制		
小計	3.0	0.11										
1.5 資源・マテリアル対策												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	4.0	0.10	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.1	節水				
節水器具の設置	3.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水等の利用	1	雨水利用システム導入の有無		
	0.0	0.00	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水等の利用	2	雑排水等利用システム導入の有無		
	2.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.1	材料使用量の削減				
	3.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.2	既存建築躯体等の継続使用				
	3.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用				
	1.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				
	2.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.5	持続可能な森林から産出された木材				
	3.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み				
小計	2.7	0.30										
1.6 ライフサイクルCO2排出率												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	4.6	1.00	LR2	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮						
ライフサイクルCO2排出量の削減												
小計	4.6	0.12										
1.「地球温暖化対策」の推進の評価												
	3.8	0.70										
■ 2. 「ヒートアイランド対策」の推進												
2.1 温熱環境の向上												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出						
	1.0	0.24	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮	3.2	敷地内温熱環境の向上				
	1.0	0.27		敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.2	温熱環境悪化の改善				
小計	1.0	0.97										
2.2 交通負荷抑制												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3	交通負荷抑制		
小計	3.0	0.03										
2.「ヒートアイランド」対策」の推進の評価												
	1.1	0.16										
■ 3. 「長寿命化対策」の推進												
3.1 耐用性の向上												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.50	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	耐震・免震・制震・制振	1	耐震性(建物のこわれにくさ)		
	3.0	0.13	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	耐震・免震・制震・制振	2	免震・制震・制振性能		
	3.0	0.08	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	1	躯体材料の耐用年数		
	2.0	0.08	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		
	3.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
	3.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	4	空調換気ダクトの更新必要間隔		
	3.0	0.08	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	5	空調・給排水配管の更新必要間隔		
	3.0	0.08	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	6	主要設備機器の更新必要間隔		
小計	2.9	0.44										
3.2 設備の更新性												
(コメント) ※設計の計画上年段に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	1	空調配管の更新性		
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	2	給排水管の更新性		
	3.0	0.10	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	3	電気配線の更新性		
	3.0	0.10	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	4	通信配線の更新性		
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	5	設備機器の更新性		
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	6	バックアップスペースの確保		
小計	3.0	0.56										
3.「長寿命化対策」の推進の評価												
	3.0	0.14										
■ 重点項目の総平均(上記3項目)												
	3.2											